

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 19 年 5 月 31 日 (2007.5.31)

【公開番号】特開 2000-197677(P2000-197677A)  
 【公開日】平成 12 年 7 月 18 日 (2000.7.18)  
 【出願番号】特願 平 11-137665  
 【国際特許分類】

**A 6 1 H 7/00 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 H 7/00 3 2 3 J  
 A 6 1 H 7/00 3 2 3 K  
 A 6 1 H 7/00 3 2 2 D  
 A 6 1 H 7/00 3 2 2 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 4 月 5 日 (2007.4.5)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【書類名】明細書  
 【発明の名称】マッサージ機  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

座部 (3) と背凭れ部 (4) とを有する椅子型マッサージ機において、  
 背凭れ部 (4) に機械式のマッサージ具 (8) が設けられ、  
 座部 (3) に、前記機械式のマッサージ具 (8) よりも動作が緩やかでソフトなマッ  
サージを行う空気式のマッサージ具 (45, 46) が設けられ、  
前記機械式のマッサージ具 (8) は、前記空気式のマッサージ具 (45, 46) によっ  
てマッサージが行われる使用者に対して、前記空気式のマッサージ具 (45, 46) より  
も早い動作の強いマッサージを行うことを特徴とする椅子型マッサージ機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本発明は、椅子型マッサージ機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

座部と背凭れ部とを有する従来の椅子型マッサージ機には、座部と背凭れ部とに夫々機械式のマッサージ具を設け、モータの回転動力によって揉み玉を揉み動作及び叩き動作させて使用者の背、肩、腰等をマッサージすると共に、モータの回転動力によって揉み玉を動かして座部上にある使用者の尻や太もも等を押圧したり揉んだりするようにしたものである。

【0003】

また、従来の椅子型マッサージ機には、座部と背凭れ部とに夫々空気式のマッサージ具を設け、空気圧によって伸縮動作するエアセルに空気をコンプレッサー等から供排することにより、エアセルで使用者の背、肩、腰等をマッサージすると共に、空気圧によって伸縮動作するエアセルによって使用者の尻や太もも等を押圧したり揉んだりするようにしたものである。

## 【 0 0 0 4 】

しかし、従来、空気式のマッサージ具によって動作が緩やかなマッサージが行われる使用者に対して、機械式のマッサージ具によって動作が早いマッサージを行う椅子型マッサージ機はなかった。

## 【 0 0 0 5 】

## 【 発明が解決しようとする課題 】

本発明は上記問題点に鑑み、効果的なマッサージが行える椅子型マッサージ機を提供するようにしたものである。

## 【 0 0 0 6 】

## 【 課題を解決するための手段 】

上記問題点を解決する本発明の技術手段は、座部と背凭れ部とを有する椅子型マッサージ機において、背凭れ部に機械式のマッサージ具が設けられ、座部に、前記機械式のマッサージ具よりも動作が緩やかでソフトなマッサージを行う空気式のマッサージ具が設けられ、前記機械式のマッサージ具は、前記空気式のマッサージ具によってマッサージが行われる使用者に対して、前記空気式のマッサージ具よりも早い動作の強いマッサージを行う点にある。

従って、空気式のマッサージ具によってマッサージを受ける使用者は、機械式のマッサージ具によって、空気式のマッサージ具よりも早い動作の強いマッサージを受けることができる。

## 【 0 0 0 7 】

本発明の他の技術手段は、前記機械式のマッサージ具 8 は、モータ 10 とモータ 10 の回転動力によって揉み玉 12 をマッサージ動作させる伝動機構 11 とを備える点にある。従って、モータ 10 の回転動力によって、揉み玉 12 で使用者の肩、腰、背等を激しく叩いたり、強く揉んだりして、肩、腰、背等を適度の強さで効果的なマッサージをすることが可能になる。

本発明の他の技術手段は、座部 3 に空気圧によって伸縮動作するエアセル 47, 49 を組み込めばよい。エアセル 47, 49 は空気圧によって伸縮動作するクッション性の高いものであり、これによって座部 3 のクッション性を大きく損なうことはなくなり、座部 3 を座り心地のよいものになし得る。エアセル 47, 49 は、モータの回転動力によって揉み玉等にマッサージ動作させる機械式の伝動機構に比べて構成が簡単で小形のもので済むから、座部 3 にマッサージ具を組み込むための大きなスペースも不要になる。

## 【 0 0 0 8 】

本発明の他の技術手段は、前記機械式のマッサージ具 8 は、背凭れ部 4 を昇降するように構成されている点にある。従って、機械式のマッサージ具 8 によって、使用者の肩、腰、背等を広範囲に亘って激しく叩いたり、強く揉んだりして、適度の強さで効果的なマッサージをすることが可能になる。

本発明の他の技術手段は、座部 3 の下方にフットレスト 5 が設けられ、フットレスト 5 に、脚をマッサージするための空気式のマッサージ具 45, 46 が設けられている点にある。

## 【 0 0 0 9 】

従って、背凭れ部 4 の機械式のマッサージ具 8 によって肩、腰、背等を効果的にマッサージできかつ座部 3 の空気式のマッサージ具 45, 46 によって尻、太もも等をソフトにマッサージできると同時に、空気式のマッサージ具 45, 46 によって使用者の脚をソフトにマッサージすることができる。しかも、フットレスト 5 のマッサージ具 45, 46 に対して、座部のマッサージ具 45, 46 の空気供給源から空気を給排することができ、コンプレッサ等の動力源を兼用することができる。

## 【 0 0 1 0 】

本発明の他の技術手段は、前記フットレスト 5 が、座部 3 の下方に着脱自在に設けられている点にある。従って、フットレスト 5 を取り付けた状態でマッサージ具 53, 58 で脚のふくらはぎ等をマッサージできると共に、フットレスト 5 を取り外して床等に載置す

ることにより、フットレスト５のマッサージ具５３，５８で足の裏や足の側部等を効果的にマッサージすることができる。本発明の他の技術手段は、前記フットレスト５が、座部３に、座部３の前端部から垂下する垂下状態と、座部３の前方に載置される載置状態とに姿勢変更可能に連結されている点にある。

【００１１】

従って、フットレスト５を垂下状態にセットすることにより、フットレスト５のマッサージ具５３，５８で脚のふくらはぎをマッサージすることができると共に、フットレスト５を載置状態にセットすることにより、フットレスト５のマッサージ具５３，５８で足の裏や足の側部等を効果的にマッサージすることができる。本発明の他の技術手段は、前記フットレスト５が、座部３に対して接離調整可能に構成されている点にある。

【００１２】

従って、フットレスト５を、座部３に対して接離調整することによって、使用者の脚の長さ等に合わせて使用者の脚の希望する部分を、フットレスト５のマッサージ具５３，５８で良好にマッサージすることが可能になる。本発明の他の技術手段は、前記フットレスト５が、脚の上側をマッサージする第一フットレスト部８５と脚の下側をマッサージする第二フットレスト部８６とに分割され、第一フットレスト部８５と第二フットレスト部８６とが接離調整可能に構成されている点にある。

【００１３】

従って、第一フットレスト部８５と第二フットレスト部８６とを、座部３に対して接離調整することによって、使用者の脚の長さ等に合わせて使用者の脚の希望する部分を、フットレスト５のマッサージ具５３，５８で良好にマッサージすることが可能になる。本発明の他の技術手段は、前記座部３を振動させるバイブレータ１０９が設けられている点にある。従って、座部３においてマッサージ具４５，４６によるマッサージと共に振動によるマッサージを施すことができるようになる。

【００１４】

本発明の他の技術手段は、前記フットレスト５を振動させるバイブレータ１１０が設けられている点にある。従って、フットレスト５においてマッサージ具５３，５８によるマッサージと共に振動によるマッサージを施すことができるようになる。本発明の他の技術手段は、バイブレータ１１１が、座部３のマッサージ具４５，４６又はフットレスト５のマッサージ具５３，５８に組み込まれている点にある。

【００１５】

従って、座部３及びフットレスト５においてマッサージ具４５，４６又はマッサージ具５３，５８によるマッサージと共に振動によるマッサージを施すことができるようになる。

【００１６】

【実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて説明する。及びは、本発明に係る椅子型マッサージ機１の全体構成を示している。及びにおいて、椅子型マッサージ機１は、脚体２により支持された座部３と、座部３の後部に設けられた背凭れ部４と、座部３の前部下方に設けられたフットレスト５と、座部３の左右両側に設けられたひじ掛け部６とを具備している。背凭れ部４は、リクライニング装置７により座部３後端部側を支点としてリクライニング可能に構成されている。

【００１７】

背凭れ部４に機械式のマッサージ具８が内蔵されている。マッサージ具８は、にも示す如く複数の揉み玉（マッサージ用のローラ）９と、マッサージ用モータ１０と、マッサージ用モータ１０の回転動力を揉み玉９に伝達して該各揉み玉９に揉み動作や叩き動作をさせる伝動機構１１と、支持枠１４とを有し、マッサージ具８は、昇降手段１３により背凭れ部４内を上下動可能に構成されている。昇降手段１３は、マッサージ具８の支持枠１４に螺合した送りねじ１５を昇降モータ１６で回転させることによって、マッサージ具８を昇降させる機構を採用してある。

## 【 0 0 1 8 】

なお、この昇降手段 1 3 は、巻き掛け駆動機構やラックとピニオンとの噛合構造、又は流体圧シリンダ等を用いた昇降駆動構造等を用いたものに置換することも可能である。マッサージ具 8 の伝動機構 1 1 は、～に示すように左右両側へ揉み動作軸 1 9 及び叩き動作軸 2 0 を突出させた駆動ユニット 2 1 と、上記の動作軸 1 9 , 2 0 によって保持された左右一对の駆動アーム 2 5 と、各駆動アーム 2 5 の先端部に固定された支持アーム 2 6 とを有し、支持アーム 2 6 の上下両端部に上記揉み玉 9 が取り付けられている。

## 【 0 0 1 9 】

上記した駆動ユニット 2 1 は、マッサージ用モータ 1 0 による回転動力から揉み動作軸 1 9 を介して駆動アーム 2 5 に左右動成分を取り出すことで揉み動作を行わせる状態と、マッサージ用モータ 1 0 による回転動力から叩き動作軸 2 0 を介して駆動アーム 2 5 に前後揺動成分を取り出すことで叩き動作を行わせる状態とを、所望に応じて切換可能になっている。前記動作軸 1 9 , 2 0 は左右方向に互いに平行に配置されていて、駆動ユニット 2 1 のケースに夫々軸受を介して回転自在に支持されている。これらの動作軸 1 9 , 2 0 は、マッサージ用モータ 1 0 により伝動機構 1 1 を介して一方が選択されてに示す矢印 A 又は B の方向に回転駆動を受けるようになっている。

## 【 0 0 2 0 】

叩き動作軸 2 0 の両端部に互いに逆方向に偏心した偏心軸部 2 0 A , 2 0 A が設けられ、揉み動作軸 1 9 の両端部に傾斜軸部 1 9 A , 1 9 A が設けられている。叩き動作軸 2 0 の偏心軸部 2 0 A と揉み動作軸 1 9 の傾斜軸部 1 9 A はリンク機構 2 8 によって連結されている。リンク機構 2 8 は板状の駆動アーム 2 5 と、該駆動アーム 2 5 に連結されたボールジョイント 2 9 と、該ボールジョイント 2 9 の軸部にピン 3 0 で連結された連結アーム 3 1 とで成っている。上記駆動アーム 2 5 は傾斜軸部 1 9 A に回転自在に支持され、連結アーム 3 1 は偏心軸部 2 0 A に揺動自在に取り付けられている。

## 【 0 0 2 1 】

かくして、叩き動作軸 2 0 が A 方向に回転すると、該叩き動作軸 2 0 の偏心軸部 2 0 A は連結アーム 3 1、ボールジョイント 2 9、駆動アーム 2 5 及び支持アーム 2 6 を介して揉み玉 9 を A 1 方向に往復動せしめる。これにより揉み玉 9 は叩き運動を行う。なお、一方の偏心軸部 2 0 A は他方の偏心軸部 2 0 A に対して互いに反対方向に偏心しているので、左右に対応する揉み玉 9 は交互に叩き動作をする。次に、揉み動作軸 1 9 が回転動力を受けると、傾斜軸部 1 9 A は、円錐面を描くように回転するので、駆動アーム 2 5 はボールジョイント 2 9 を支点にして往復揺動運動を行い、その結果、左右に対応する揉み玉 9 は互いに接離するように B 1 方向に往復揺動し、揉み動作をする。

## 【 0 0 2 2 】

揉み動作軸 1 9 及び叩き動作軸 2 0 の一方を選択して回転させる機構は、例えばに示すように構成されている。において、叩き動作軸 2 0 にはねじ歯車 3 3 が取り付けられ、揉み動作軸 1 9 にはウォーム歯車 3 4 が取り付けられている。上記叩き動作軸 2 0 及び揉み動作軸 1 9 の後方又は前方には上下方向に延びる案内軸 3 5 が配設され、該案内軸 3 5 には、上記ねじ歯車 3 3 と噛合するねじ歯車 3 6 と、上記ウォーム歯車 3 4 と噛合するウォーム 3 7 とが、上記案内軸 3 5 に対して回転自在に設けられている。

## 【 0 0 2 3 】

案内軸 3 5 上のねじ歯車 3 6 とウォーム 3 7 には互いに向かい合う端面に、クラッチとして機能する係合歯部 3 6 A , 3 7 A がそれぞれ形成されている。上記案内軸 3 5 には、上記ねじ歯車 3 6 とウォーム 3 7 との間の部分に台形ネジ部 3 9 が形成されており、ここに可動はすば歯車 4 0 がその内径で螺合している。該可動はすば歯車 4 0 の両端面には、上記係止歯部 3 6 A , 3 7 A と解除可能に係合する係合歯部 4 0 A , 4 0 A が形成されている。上記案内軸 3 5 と平行に回転駆動軸 4 3 が設けられていて、回転駆動軸 4 3 は、前記マッサージ用モータ 1 0 によってプーリ及びベルト等を介して矢印 P , Q の方向に切り代えて回転駆動されるようになっている。

## 【 0 0 2 4 】

回転駆動軸 43 にははすば歯車 44 が取り付けられており、上記可動はすば歯車 40 の外周面のはすばと噛合しており、回転駆動軸 43 を P 方向に回転すると、はすば歯車 44 と噛合している可動斜視歯車 40 は回転するとともに案内軸 35 の台形ネジ部 39 上を R 方向に移動し、該可動はすば歯車 40 の係合歯部 40A がねじ歯車 36 の係合歯部 36A と係合して該ねじ歯車 36 は回転駆動される。その結果、ねじ歯車 36 と噛合するねじ歯車 33 が取り付けられている叩き動作軸 20 が A 方向に回転することとなる。次に、回転駆動軸 43 を P 方向とは逆の Q 方向に回転させると、可動はすば歯車 40 は、上記の動作とは逆に、R 方向とは反対の S 方向に移動し、ウォーム 37 と係合して上記揉み動作軸 19 を B 方向に回転させる。

#### 【0025】

かくして、回転駆動軸 43 を正逆回転させて可動はすば歯車 40 を R, S 方向に一方へ選択的に移動させることにより、叩き動作軸 20 又は揉み動作軸 19 の一方を回転せしめ、複数の揉み玉 9 で叩き動作あるいは揉み動作を行うことができる。なお、上記ねじ歯車 33, 36 はほぼ同じ歯数になっているので、単位時間当たり比較的多い回数で叩き動作をするのに対し、ウォーム 37 からウォーム歯車 34 へは大きく減速されて回転力が伝達されるので揉み動作はゆっくりと行われる。

#### 【0026】

及びにおいて、前記座部 3 には、後ろ寄りに 2 個の空気式のマッサージ具 45 が設けられ、前寄りに 2 個の空気式のマッサージ具 46 が設けられている。後ろ寄りの各マッサージ具 45 は、エアセル 47 と枕状の施療子 48 とを備え、エアセル 47 に空気を供排することによりエアセル 47 は空気圧によって伸縮動作し、施療子 48 を介して使用者の尻を押圧するように構成されている。前寄りの各マッサージ具 46 はエアセル 49 と施療子 50 とを備え、エアセル 49 に空気を供排することによりエアセル 49 は空気圧によって伸縮動作し、施療子 50 を介して使用者の太ももを押圧するようになっている。

#### 【0027】

前記フットレスト 5 には、左右の足を別々に挟持することができる溝形の足保持部 51, 51 が設けられており、各足保持部 51, 51 の座部 5 寄りの底壁 52 に、空気式のマッサージ具 53 がそれぞれ設けられ、各マッサージ具 53 はエアセル 54 と施療子 55 とを備えている。各足保持部 51, 51 の先端側の対向側壁 57 に空気式のマッサージ具 58 がそれぞれ対向して 2 個ずつ、計 4 個設けられ、各マッサージ具 58 はエアセル 59 と施療子 60 とを夫々備えている。各マッサージ具 53, 58 のエアセル 54, 59 は膨張・伸縮により脚を押圧するためのものであり、特に、座部寄りのエアセル 54 は施療子 55 を介してふくらはぎ裏を押圧し、先端側のエアセル 59 は足首を挟持状に押圧する。

#### 【0028】

前記エアセル 47、49、54、59 の膨張・収縮は、座部 3 の下方に配置したコンプレッサー 61 からの給排気により行われ、コンプレッサー 61 からの給気・排気の切り替えは図示省略の制御部により制御されるバルブによって夫々別個に行われるように構成されている。は他の実施の形態を示し、座部 3 の前部に取付板 71 が下方突設され、この取付板 71 の前面の左右両側に面ファスナ 72 が固着され、前記フットレスト 5 の後面に、前記面ファスナ 72 に着脱自在に接着される面ファスナ 73 が固着され、面ファスナ 72, 73 を介してフットレスト 5 を、座部 3 に対して着脱自在に取り付けるようにしたものである。その他の点は前記実施の形態の場合と同様な構成であり、図示省略しているが、背凭れ部 4 に機械式のマッサージ具 8 が設けられ、座部 3 に空気式のマッサージ具 45, 46 が設けられている。また、フットレスト 5 に、脚をマッサージするための空気式のマッサージ具 53, 58 が設けられている。

#### 【0029】

従って、この実施の形態の場合、座部 3 に対してフットレスト 5 を取り付けした状態でマッサージ具 53, 58 で脚のふくらはぎ等をマッサージできると共に、フットレスト 5 を座部 3 から取り外して床等に載置することにより、フットレスト 5 の足保持部 51 に足を載せてマッサージ具 53, 58 で足の裏や足の側部等を効果的にマッサージすることがで

きる。及びは他の実施の形態を示し、座部 3 の前部に取付板 7 1 が下方突設され、この取付板 7 1 の前面の左右両側にレール 7 5 が設けられ、前記フットレスト 5 の後面に、前記レール 7 5 に上側から抜き差し自在に係合保持されるレール 7 6 が設けられ、これによりフットレスト 5 をレール 7 5 , 7 6 を介して座部 3 に対して着脱自在に取り付けられるようにしたものである。その他の点は前記実施の形態の場合と同様な構成であり、図示省略しているが、背凭れ部 4 に機械式のマッサージ具 8 が設けられ、座部 3 に空気式のマッサージ具 4 5 , 4 6 が設けられている。また、フットレスト 5 に、脚をマッサージするための空気式のマッサージ具 5 3 , 5 8 が設けられている。

#### 【 0 0 3 0 】

この場合、前記に示す実施の形態の場合と同様に、座部 3 に対してフットレスト 5 を取り付けた状態でマッサージ具 5 3 , 5 8 で脚のふくらはぎ等をマッサージできると共に、フットレスト 5 を座部 3 から取り外して床等に載置することにより、フットレスト 5 の足保持部 5 1 に足を載せてフットレスト 5 のマッサージ具 5 3 , 5 8 で足の裏や足の側部等を効果的にマッサージすることができる。は他の実施の形態を示し、座部 3 の前部の左右両側に取付ステー 7 8 が突設され、この取付ステー 7 8 にボルト等の締結具 7 9 により、前記フットレスト 5 が着脱自在に取り付けられるようにしたものである。その他の点は前記実施の形態の場合と同様な構成であり、図示省略しているが、背凭れ部 4 に機械式のマッサージ具 8 が設けられ、座部 3 に空気式のマッサージ具 4 5 , 4 6 が設けられている。また、フットレスト 5 に、脚をマッサージするための空気式のマッサージ具 5 3 , 5 8 が設けられている。

#### 【 0 0 3 1 】

この場合も、前記に示す実施の形態の場合と同様に、座部 3 に対してフットレスト 5 を取り付けた状態でマッサージ具 5 3 , 5 8 で脚のふくらはぎ等をマッサージできると共に、フットレスト 5 を座部 3 から取り外して床等に載置することにより、フットレスト 5 の足保持部 5 1 に足を載せてフットレスト 5 のマッサージ具 5 3 , 5 8 で足の裏や足の側部等を効果的にマッサージすることができる。は他の実施の形態を示し、座部 3 の前部に連結板 8 1 が垂下状に取り付けられ、この連結板 8 1 は、幅方向中途部でヒンジ 8 2 を介して後方に屈曲自在に構成され、連結板 8 1 の下端に、フットレスト 5 の前端部が連結されており、連結板 8 1 の屈曲と伸長とにより、フットレスト 5 が、座部 3 の前端部から垂下する垂下状態と、座部 3 の前方の床等に載置される載置状態とに姿勢変更可能に構成されている。その他の点は前記実施の形態の場合と同様な構成であり、図示省略しているが、背凭れ部 4 に機械式のマッサージ具 8 が設けられ、座部 3 に空気式のマッサージ具 4 5 , 4 6 が設けられている。また、フットレスト 5 に、脚をマッサージするための空気式のマッサージ具 5 3 , 5 8 が設けられている。

#### 【 0 0 3 2 】

この場合、連結板 8 1 を下方に伸長させることによって、座部 3 の前方の床等にフットレスト 5 を載置することができ、このように載置したフットレスト 5 の足保持部 5 1 に足を載せることによって、フットレスト 5 のマッサージ具 5 3 , 5 8 で足の裏や足の側部等を効果的にマッサージすることができる。また、連結板 8 1 をヒンジ 8 2 を介して後方に屈曲させて、フットレスト 5 を座部 3 の前端部に図示省略の係合具等を介して係合させて垂下状に連結することによって、フットレスト 5 のマッサージ具 5 3 , 5 8 で脚のふくらはぎをマッサージすることができる。

#### 【 0 0 3 3 】

～は他の実施の形態を示し、前記フットレスト 5 が、脚の上側をマッサージする第一フットレスト部 8 5 と脚の下側をマッサージする第二フットレスト部 8 6 とに分割され、第一フットレスト部 8 5 と第二フットレスト部 8 6 とが座部 3 の前部に、支持フレーム 8 7 を介して前後方向にスライド調整自在に取り付けられている。支持フレーム 8 7 は、に示すように、固定フレーム 9 0 と第一スライドフレーム 9 1 と第二スライドフレーム 9 2 とを備える。固定フレーム 9 0 は、左右一对の縦部材 9 3 と複数本の横部材 9 4 と左右一对の内レール 9 5 とを有し、左右一对の取付片 9 6 を介して座部 3 の前端下部に上下揺動自在に

連結されるようになっている。

【 0 0 3 4 】

第一スライドフレーム 9 1 は、左右一対の外レール 9 9 と前後一対の連結部材 1 0 0 と左右一対の内レール 1 0 1 とを備え、外レール 9 9 は、固定フレーム 9 0 の内レール 9 5 対して前後摺動自在に外嵌保持され、前後一対の連結部材 1 0 0 は、左右一対の外レール 9 9 に連結固定され、左右一対の内レール 1 0 1 は、前後一対の連結部材 1 0 0 間に固着されている。第二スライドフレーム 9 2 は、左右一対の外レール 1 0 5 と前後一対の連結部材 1 0 6 とを備え、左右一対の外レール 1 0 5 は、第一スライドフレーム 9 1 の内レール 1 0 1 対してそれぞれ前後摺動自在に外嵌保持され、前後一対の連結部材 1 0 6 は左右一対の外レール 1 0 5 にそれぞれ連結固定されている。

【 0 0 3 5 】

そして、第一スライドフレーム 9 1 の前後一対の連結部材 1 0 0 に、フットレスト 5 の第一フットレスト部 8 5 が固着され、第二スライドフレーム 9 2 の前後一対の連結部材 1 0 6 に、フットレスト 5 の第二フットレスト部 8 6 が固着されている。また、第一スライドフレーム 9 1 の左右一対の外レール 9 9 は、図示省略の係止手段によって、固定フレーム 9 0 の内レール 9 5 対して任意の前後摺動位置で係合固定できるように構成され、第二スライドフレーム 9 2 の左右一対の外レール 1 0 8 は、図示省略の係止手段によって、第一スライドフレーム 9 1 の内レール 1 0 1 対して任意の前後摺動位置で係合固定できるように構成されている。

【 0 0 3 6 】

従って、第一スライドフレーム 9 1 は、固定フレーム 9 0 に対して前後に移動調整自在であり、また第二スライドフレーム 9 2 は、第一スライドフレーム 9 1 に対して前後に移動調整自在であり、第一フットレスト部 8 5 と第二フットレスト部 8 6 とが前後に二段にスライド調整できるように構成されている。その結果、第一スライドフレーム 9 1 を固定フレーム 9 0 に対して前後に移動調整することにより、フットレスト 5 全体が、座部 3 に対して前後に接離調整可能であり、また第二スライドフレーム 9 2 を第一スライドフレーム 9 1 に対して前後に移動調整することにより、第二フットレスト部 8 6 を座部 3 及び第一フットレスト部 8 5 に対して前後に接離調整可能である。

【 0 0 3 7 】

その他の点は前記実施の形態の場合と同様な構成であり、図示省略しているが、背凭れ部 4 に機械式のマッサージ具 8 が設けられ、座部 3 に空気式のマッサージ具 4 5 , 4 6 が設けられている。また、フットレスト 5 の第一フットレスト部に、脚をマッサージするための空気式のマッサージ具 5 3 が設けられ、フットレスト 5 の第二フットレスト部に脚をマッサージするための空気式のマッサージ具 5 8 が設けられている。従って、この場合、第一フットレスト部 8 5 と第二フットレスト部 8 6 とを、座部 3 に対して前後に接離調整することによって、使用者の脚の長さ等に合わせて使用者の脚の希望する部分を、フットレスト 5 のマッサージ具 5 3 , 5 8 で良好にマッサージすることが可能になる。

【 0 0 3 8 】

及びは他の実施の形態を示し、座部 3 を振動させるバイブレータ 1 0 9 が設けられると共に、フットレスト 5 を振動させるバイブレータ 1 1 0 が設けられている。その他の点は前記実施の形態の場合と同様な構成であり、背凭れ部 4 に機械式のマッサージ具 8 が設けられ、座部 3 に空気式のマッサージ具 4 5 , 4 6 が設けられている。また、フットレスト 5 に、脚をマッサージするための空気式のマッサージ具 5 3 , 5 8 が設けられている。この場合、座部 3 及びフットレスト 5 においてマッサージ具 4 5 , 4 6 又はマッサージ具 5 3 , 5 8 によるマッサージと共に振動によるマッサージを施すことができるようになる。

【 0 0 3 9 】

は他の実施の形態を示し、前記及びの実施の形態に代えて、バイブレータ 1 1 1 をマッサージ具 4 5 , 4 6 , 5 3 , 5 8 の施療子等に収納することによって、バイブレータ 1 1 1 を座部 3 のマッサージ具 4 5 , 4 6 及び / 又はフットレスト 5 のマッサージ具 5 3 , 5 8 に組み込むようにしたものである。この場合も、座部 3 及びフットレスト 5 においてマ

ッマッサージ具 4 5 , 4 6 又はマッサージ具 5 3 , 5 8 によるマッサージと共に振動によるマッサージを施すことができるようになる。

【 0 0 4 0 】

なお、前記パイプレータ 1 0 9 , 1 1 0 , 1 1 1 は、に示すようにモータ 1 1 3 により主構成して、ケース 1 1 4 に収納したものであってもよいし、に示すようにソレノイド 1 1 5 により主構成して、同様のケースに収納したものであってもよい。ところで、本発明は、上記実施の形態に限定されるものではない。例えば、マッサージ具 8 は、叩き動作だけを行う構成としてもよいし、また揉み動作だけを行う構成としてもよい。

【 0 0 4 1 】

【発明の効果】

本発明によれば、空気式のマッサージ具によってマッサージを受ける使用者は、機械式のマッサージ具によって、空気式のマッサージ具よりも早い動作の強いマッサージを受けることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の一実施の形態を示す側面図である。

【図 2】同正面図である。

【図 3】同機械式のマッサージ具の斜視図である。

【図 4】同機械式のマッサージ具の一部を示す正面図である。

【図 5】同伝達機構部分の斜視図である。

【図 6】他の実施の形態を示す斜視図である。

【図 7】他の実施の形態を示す斜視図である。

【図 8】同フットレストの斜視図である。

【図 9】他の実施の形態を示す斜視図である。

【図 1 0】他の実施の形態を示す斜視図である。

【図 1 1】他の実施の形態を示す斜視図である。

【図 1 2】同フットレストを座部に対して接離調整した状態の斜視図である。

【図 1 3】同支持フレームの斜視図である。

【図 1 4】他の実施の形態を示す側面図である。

【図 1 5】同正面図である。

【図 1 6】他の実施の形態を示すマッサージ具の分解正面図である。

【図 1 7】パイプレータの一例を示す斜視図である。

【図 1 8】パイプレータの一例を示す斜視図である。

【符号の説明】

- 1 椅子型マッサージ機
- 3 座部
- 5 フットレスト
- 4 背凭れ部
- 8 機械式のマッサージ具
- 9 揉み玉
- 1 0 マッサージ用モータ
- 1 1 伝動機構
- 4 5 空気式のマッサージ具
- 4 6 空気式のマッサージ具
- 4 7 エアセル
- 4 8 エアセル
- 5 3 空気式のマッサージ具
- 5 8 空気式のマッサージ具
- 8 5 第一フットレスト部
- 8 6 第二フットレスト部
- 1 0 9 パイプレータ



1 1 0 バイブレータ  
1 1 7 バイブレータ